

市議会だより さつて

議会HPはコチラ
<https://www.city.satte.lg.jp/parliament/index.html>

幸手 議会



第5回議会報告会を開催しました！
たくさんのご意見・ご要望を伺いました！

3月定例会のおもなことから

- ・ 令和8年度当初予算等 2～5ページ
- ・ 各常任委員会での審査 6～8ページ
- ・ 市政に対する一般質問等 9～15ページ
- ・ 議決結果の一覧 16ページ

No.118
2026年
5月

幸手市の魅力や出来事、災害時の情報を発信します。幸手市公式LINE登録



第5回議会報告会を実施しました



令和8年2月7日（土）幸手市役所第二庁舎において、第5回議会報告会を開催し、17人の方にご参加いただきました。定例会で審議した議案などを、総務・文教厚生・建設経済常任委員会の各委員長が報告しました。その後4つのグループに分かれての広聴会を実施し、様々なご質問や貴重なご意見をいただきました。

常任委員会で先進地を視察研修しました

令和8年1月14日（水）16日（金）岡山県総社市「庁舎建設について」・岡山県総社市「小中学校英語科目の学力向上取組事例」・岡山県玉野市「道の駅の建設から運営」市議会では、3つの常任委員会（総務・文教厚生・建設経済）が合同で行政視察を行いました。今後は、当市における、新庁舎建設、英語教育、道の駅構想の視察内容を精査し、研究して幸手市に見合った提案ができるように取り組んでいきます。



議会運営委員会で先進地を視察研修しました



令和8年1月8日（木）・9日（金）議会運営委員会では、議会における防災時の指針等の作成状況及びおぢや震災ミュージアムそなえ館について、新潟県小千谷市議会を視察研修しました。平成16年10月23日の中越地震では、議会として応急処置を行い、震災復興特別委員会を設置していました。平成31年には小千谷市議会災害対策本部を設置し、災害対策要綱並びに大規模災害発生時のマニュアルを制定していました。

所管事務調査をおこないました

令和8年1月30日（金）文教厚生常任委員会では、所管に対する事務に関する理解を深め、今後の参考とすることを目的に、幸手市立東小中学校開校に向けた準備状況についての調査を実施しました。当日は、市役所第1委員会室にて、教育総務課長より、調査事項について事前説明を受け、その後現地調査、帰庁後質疑応答を実施しました。今後の委員会活動に活かしてまいります。



令和8年度 幸手市一般会計予算

203億1,000万円 (前年度比) 5.3%増

主な新たな施策

- 市制施行40周年記念式典の開催(市制施行40周年事業) 2,590千円
- ペットボトルキャップによる記念品作成 869千円
- 省エネ設備による温室効果ガス排出量の削減を実施 1,000千円
- 市制施行40周年記念給食の実施(学校給食関係事業) 250千円
- 循環バスの運行やAIデマンド交通の運行を実施 59,499千円
- 未就学児童1人に年間2万円分のデジタル商品券 32,640千円
- 令和8年度から市内小・中学校の給食費を無償化 413,060千円

令和8年 3月定例会

3月定例会は2月18日から3月17日までの28日間で開催

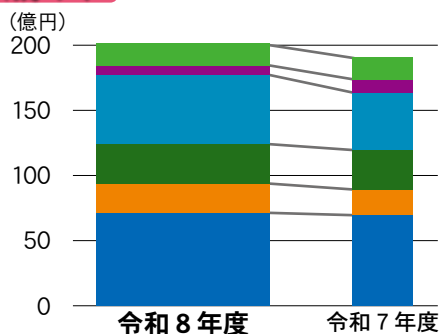
市長提出議案24件全てが可決となりました

議案15号 令和8年度幸手市一般会計予算・・・可決

議案16号 令和8年度特別会計・企業会計予算・・・可決

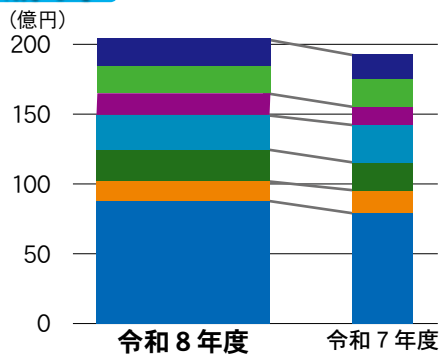
議案22号 幸手市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例・・・可決

歳入



- 其他の依存財源 9.0% 前比 102.4%
- 市債 3.1% 前比 66.2%
- 国県支出金 26.5% 前比 119.9%
- 地方交付税 15.1% 前比 100.3%
- 其他自主財源 11.0% 前比 114.1%
- 市税 35.3% 前比 101.8%

歳出



- 其他 議会費・農林水産費・労働費 9.6% 前比 111.5%
- 衛生費 市の衛生 10.0% 前比 101.7%
- 公債費 返済費 6.9% 前比 103.8%
- 総務費 組織管理 11.8% 前比 90.0%
- 教育費 学校や学習 11.0% 前比 114.6%
- 土木費 工事など 7.2% 前比 89.5%
- 民生費 福祉など 43.5% 前比 111.2%

歳出性質別

(単位：千円)

区分	予算額	前年比
義務的経費 51.0%	人件費 3,669,981	100.9%
	扶助費 5,292,354	110.5%
	公債費 1,397,011	103.8%
投資的経費 5.8%	普通建設事業費 1,178,670	87.0%
其他経費 43%	物件費 3,982,208	108.6%
	維持補修費 79,651	60.2%
	補助費等 2,341,841	110.8%
	繰出金 2,119,376	101.6%
	積立金 187,408	179.6%
	貸付金 31,500	100.0%
	予備費 30,000	100.0%
合計	20,310,000	105.3%

令和8年度

特別会計・企業会計予算

会計名 (単位：千円)	予算額
国民健康保険特別会計	5,403,567
後期高齢者医療特別会計	1,132,367
介護保険特別会計	4,632,184
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	364,765
水道事業会計(支出合計)	2,085,693
公共下水道事業会計(支出合計)	1,755,204
農業集落排水事業会計(支出合計)	54,805

※企業会計予算詳細は、市広報4月号4ページにてご確認ください。

令和8年3月定例会
本会議議案質疑内容

(議案第9号)
令和7年度幸手市
一般会計補正予算
(第11号)
可決

質疑

土木費、上船渡橋架替事業負担金3400万円減額となり、国の補正予算分5400万増額となっている。権現堂桜堤周辺と対岸を結ぶ重要橋梁であり、今回の事業費増額により、歩道設置を含む歩行者安全対策整備が可能となるか。

答弁

新たに架け替える橋梁の幅員が現況より拡張することにより、生じる負担金である。国の交付金活用にて埼玉県に支出している減額分は国の交付金内示額に合わせて令和7年度の県への負担金を減額する補正です。国補正分は令和8年度に県が執行する工費用積橋工上部工撤去費の負担金として計上した、歩道設

置を含む安全対策工事整備に要する費用増額ではない。

(議案第15号)
令和8年度一般
会計予算
可決

質疑

空き家等除却補助金300万円が計上されているが想定件数、1件当たりの補助上限額、適用要件は。

答弁

令和8年度は10件の申請見込み。1件当たり補助額は、除却費用の2分の1とし30万円が上限です。要件は空き家等個人所有している方。対象空き家は市内にある昭和56年以前の旧耐震基準で建てられ、住宅用に供されおおむね1年以上使用されていることです。

質疑

放課後児童クラブは指定管理制度を導入し1年が経過するが、利用者の満足度や問題・課題は。

答弁

指定管理者の運営状況は毎年

1月提出の報告書内容確認、毎月1回、管理者と市担当者による定例会の開催、その実施状況把握に努めている。令和7年9月に市・保護者・指定管理者の3者意見交換の場を設け保護者からの意見要望について適宜クラブ運営に反映している。現在全ての放課後児童クラブにて保護者アンケートを実施し、3月下旬には結果を指定管理者から受ける予定。日常的な運営状況の確認や保護者の皆様からの意見を通じた把握の中では、現時点において管理者運営に関し大きな問題や課題点は生じていないと認識しています。保護者アンケート結果を踏まえ利用者の満足度や意見を丁寧把握し、来年度以降の運営に反映していきます。

質疑

工事の設計委託です。歳入の自主財源のうち市税以外、その他自主財源が増えている理由は。

答弁

第17款寄付金が1億2850万円第18款繰入金が1億3746万6千円増加。

質疑

歳出総務費が前年度より約2億6800万円の減額理由は。

答弁

自治体システム標準化に要する経費が減額、令和7年度実施の国勢調査に要する経費減額。

質疑

民生費が前年度より約8億8800万円の増額理由は。

答弁

介護訓練等給付費、障がい児通所給付費の扶助費が大幅に増加や生活保護費の増加による。

質疑

商工費が前年度より約2億4200万円増額理由は。

幸手小学校・西中学校体育館の空調設備設計業務の内容は。

答弁

幸手小・西中体育館に空調設備を設置する工事設計業務委託です。内容は空調設備工事とそれに伴う断熱改修のほか体育館屋根の雨漏り対策や床のささくれ等に対する安全性を確保する

答 弁

ハッピーエール券発行事業予算化により大幅増額となる。

.....

賛成討論

宮澤 大地

本予算は市民生活を支えるものです。給食費無償化は子育て世帯には大きな支えになります。一方で基金は十分とは言えず持続性ある財政運営が課題です。体育館空調工事の前倒しを評価し、確実な実行を求めます。新庁舎建設は負担を抑え市民の納得が不可欠です

賛成討論

小泉 圭司

子どもと家庭を取り巻く環境を前進させる給食費無償化は重要な政策であり高く評価する。未納による不安解消や子育て環境の魅力向上にもつながる。一方で公共交通や通学環境などの課題も踏まえ、住民ニーズに丁寧に向き合う行政運営を求め、本予算案に賛成する。

賛成討論

芦葉 弘志

市内小・中学校の給食費の無償化を始め、防災・福祉・子育て・

教育・環境・地域活性化等の施策を評価します。市民生活向上と持続的発展に期待し、適正執行と柔軟対応を求めます。本予算は公明党の要望内容を多数反映しているものと評価をいたします。

賛成討論

大平 泰二

「小中学校の給食費完全無償化」に1億7837万5千円が提案された事を評価したいと思います。前回の地方選挙で、子どもが選挙公約として無償化を掲げました。また市民の方々から「完全無償化実施の請願」が出され、議会はこれを否決しました。

(会議案第1号)
幸手市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

可 決

反対討論

本田 諤子

前年度政務活動費の平均は約13万円。なぜ12万円を3倍の36万円にするのか根拠が見当たらない。上昇分360万円は紛れ

もない「市民の血税」です。高騰しているこの時期だからこそ、市民の身近な民生や福祉、教育に使われるべきと考え反対します。

賛成討論

宮澤 大地

政務活動費は市民の声を基に調査し、政策へつなげるための経費です。現行額では研修等に十分対応できない状況があります。上限引上げは若い世代の参画を後押しし、多様な人材による議会の質向上に繋がるものとします。その成果が市民に還元されると考えます。

反対討論

大平 泰二

議運の委員長が「全会一致」と言う申し合わせ事項を守らず、十分な議論も無く、政務活動費を現行の3倍の36万円に引き上げる案を提示し、一方的に議案を提出したことは非常に残念です。値上げ分、360万円を予算のないアフタースクールに回すべきです。

賛成討論

小泉 圭司

政務活動費は調査研究と市民

への情報提供のための経費です。本市の月額1万円では十分とは言いがたく、調査研究や情報発信の充実を図る上で限りがあります。調査研究と情報発信の充実を図るため、月額3万円への見直しは必要と考え、本議案に賛成します。

反対討論

枝久保 喜八郎

議員活動の変更は議会改革検討委員会に諮る慣わしを無視。また、今度いつ増額出来るかわからないから一気に3倍にという思考は、市民の血税という観点から問題で、合理化・効率化に期待するとした監査委員の決算審査総括に逆行することから当該議案は不適切である。

賛成討論

四本 奈緒美

本議案は、会派代表者会議、議員全員協議会、議会運営委員会での慎重な協議を経て提出され、更に付託先の総務常任委員会にて賛成多数で可決されたものです。

23年間据え置かれた政務活動費の増額は、後進議員のための議会改革としても当然であり賛成と致します。

総務常任委員会

令和7年度幸手市一般会
計補正予算(第11号)
(議案第9号)

問 ふるさと創造資金が950万円の減額となっているが、シタイプロモーション映画作成事業への影響はないのか。

答 ふるさと創造資金の減額については、映画製作事業に係る補助率の見直し等によるもの。クラウドファンディングやふるさと納税、企業協賛等により財源は確保されており、事業への影響はない状況である。

問 郷土資料館脇プール解体工事設計業務委託料の内容について。

答 郷土資料館脇プールはフェンス破損や雨水滞留など老朽化が進んでおり、個別施設計画に基づき解体予定とされていることから、解体費用を算出するための設計業務を行う。また解体後は更地とし、活用方法は今後検討していく。

令和8年度幸手市一般会
計予算
(議案第15号)

問 地方消費税交付金は大きな歳入となっているが、主によどのような事業に充当されるのか。

答 地方消費税交付金は、一般財源分と社会保障財源分に分かれており、一般財源分は特定の充当先はないものの、社会保障財源分については、障害福祉支援費、生活保護扶助費、保育所運営費、後期高齢者医療費などへ、事業規模に応じて充当している。

問 議会費の旅費積算根拠は。また各常任委員会の随行人数は。

答 議会費の旅費は、行き先が未定の場合は幸手から名古屋までの旅費を基準として、インターネット上の運賃をもとに算出しており、ICカード運賃による最安ルートで積算している。随行人数は2人で計算しており、1人は事務局長、もう1人は担当職員。議会広報編集委員

会については、局長と担当職員が2人いるため、3名で計上している。

問 現在無料としている電気自動車充電料金はどの程度見積もっているのか。

答 電気自動車の充電料金については、現在無料で開放しているが、電気料金としては令和5年度で約30万円、令和6年度で約80万円程度の支出となっている。

問 吉田幼稚園跡地利用促進事業の中に修繕費が含まれているが、今後の計画に対してどのような関連があるのか。

答 修繕費については、浄化槽の故障など老朽化への対応として計上したものである。今後は優先交渉権者との協議を進めながら、売却に向けた測量等を実施している。

問 先進地視察研修補助金の内容について。

答 先進地視察研修補助金は、職員がグループで先進事例を視察する際に、1組4人まで、1人当たり5万円を上限に補助す

る制度である。申請に基づき支出するものであるが、直近では令和元年度に実施されて以降、利用の実績はない。

幸手市議会政務活動費の
交付に関する条例の一部
を改正する条例
(会議案第1号)

問 政務活動費を月額1万円から3万円することについて、議員全員に対してどのように意見調整をおこなったのか。

答 政務活動費の増額については、以前から増額を求める声があり、提案に当たっては各議員に直接または電話等で趣旨を伝え、全議員に議案提出の意向を知らせた。(提出者議員)

問 政務活動費を月額1万円から3万円にした根拠は。

答 政務活動費を3万円とする根拠については、近隣自治体の水準を踏まえるとともに、研修費や旅費の増加により議員活動に必要な経費が増えていることから、十分な調査研究が行える額として月額3万円が妥当と判断した。(提出者議員)

文教厚生常任委員会

幸手市空家等の適切な管理に関する条例
(議案第5号)

問 条文中の必要最小限度の措置とは何を指すのか。

答 例えばスズメバチの巢の除去など、生命・身体への危険が差し迫った場合に、市がやむを得ず行う応急措置である。

問 所有者不明の場合の費用負担は。

答 請求できない場合は市が負担した事例がある。

問 平成26年条例第13号との違いは。

答 国の空家等対策特別措置法により措置は法律で運用し、市の条例では責務や緊急安全措置など法律にない事項を定めたものである。

ワンポイント解説

■空家の適切な管理とは？

全国で空き家の増加が課題となる中、国の法律に基づき本市でも条例を改めました。空き家を放置すると、倒壊や防犯面など周囲に影響を及ぼすおそれがあります。このため所有者には適切な管理が求められ、危険な場合には市が緊急的な安全措置を行います。また、管理が不十分と思われる空き家については、市民から市へ情報提供を行う仕組みも位置づけられています。地域全体で安全・安心な環境づくりを進めるものです。

幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
(議案第7号)

問 子ども・子育て支援納付金の内容と負担の仕組みはどのようなものか。

答 子ども・子育て支援納付金は、少子化対策の財源を社会全体で支えるために新たに設けられるものです。

子どものいる世帯の負担が増えないよう、18歳以下の子どもにはこの負担をかけず、18歳以上の被保険者が支え合う仕組みとなっております。本市では令和8年4月から、所得割0.25%、被保険者均等割1500円、18歳以上の方に係る均等割100円をお願いする内容です。

令和7年度幸手市一般会計補正予算(第11号)
(議案第9号)

問 消防費における庁用器具費の内容と設置場所は。

答 災害に使うトイレやテント、つい立てを購入し避難所となる小中学校に設置する。

問 西公民館の工事内容は。

答 空調設備の部品が劣化しているため交換し、エアコンが止まらないようにする。

問 粗大ごみ処理施設の工事内容は。

答 可燃物搬送コンベアの劣化に伴い交換し、施設停止を防ぐための工事。

令和8年度幸手市一般会計予算
(議案第15号)

問 駅の防犯カメラの設置内容は。

答 幸手駅の東口、西口にそれぞれ2基ずつ、計4基を想定している。

問 子育て応援ハッピーギフト事業の内容は。

答 未就学児1人当たり2万円のデジタル商品券を配布し、はがきで案内、電子申請後にコード送付。5月に案内し最短7月頃配布。市内業者で使用予定で、ドラッグストアやスーパーも対象となり得る。

問 学校給食費補助金の内容は。

答 小・中学校の給食費無償化に伴い、食物アレルギーや宗教上の理由で給食を食べず弁当持参の児童・生徒を対象に補助を行う予定である。

問 RSウイルスの定期接種の対象と内容は。

答 妊娠28〜37週の妊婦対象、接種により胎児へ抗体が移行し出生時からの感染予防となる。

建設経済常任委員会

幸手市水道事業給水条例の一部を改正する条例 (議案第8号)

問 改定額の算定根拠は。

答 今回の水道料金改定は、5年間で必要となる経費を水道料金でまかなうための措置。不足する場合には、どの程度の値上げが必要かを算定し、料金を改定している。34・3%の改定をすることで賄い切れるということになっている。

令和7年度幸手市一般会計補正予算(第11号) (議案第9号)

問 木造住宅耐震診断資金補助金10万円減額の根拠は。

答 住宅の耐震化においては、診断と改修それぞれに補助金制度がある。以前は、耐震診断に5万円、耐震改修に20万円の補助金が計上されていたが、申請がなかったため、この予算は全

額減額された状況である。

問 公園施設長寿命化工事2800万円の内容は。

答 高須賀池公園では、老朽化したスチールと樹脂製の複合遊具を、安全確保のため新しい複合遊具に交換する計画。この新しい複合遊具には、滑り台やジャングルジムのような登る要素が組み合わされており、大規模な施設となる予定。

令和8年度幸手市一般会計予算 (議案第15号)

問 ハッピーエール応援券発行事業の内容は。

答 ハッピーエール応援券は、1人5000円の商品券を7月中旬から下旬にかけて、世帯主様に向けて郵送する予定で進めており、使用期間については8月1日から10月31日を期間としている。

問 道の駅基本構想策定業務委託料1348万5000円の内容は。

答 新たな道の駅の基本構想策定は、令和7年度から2か年をかけて進める。この取り組みは、埼玉県が令和4年度に事業化した都市計画道路「惣新田幸手線バイパス」の整備が契機となっている。他市町の事例では、構想策定から事業実現までに約10年を要することもあるため、この機会を捉えて業務に着手した。

令和8年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算 (議案第19号)

問 国庫補助金が前年度の7350万円から3711万円へと3639万円減額された理由は。

答 毎年、個別の事業内容や規模が異なるため、それに伴い必要な事業費も変動する。また、国庫補助金の交付が以前より厳格になっている。そのため、予算編成時も交付される額を厳しめに想定して予算を組む必要が

あり、結果的に予算額が減少している。

令和8年度幸手市水道事業会計予算(第1号) (議案第20号)

問 水道事業料金徴収業務委託料の金額根拠は。

答 水道事業料金徴収等業務委託料について、当初予算と現在の計上額に大きな乖離がある。令和7年度当初予算では4499万円であるが、今回計上されているのは6779万3000円です。この差額は、令和7年第4回定例市議会で設定された3年間の債務負担行為(長期継続契約)に伴うもので、その1年間の年割額を予算化したもの。しかし、2月25日の入札の結果、1年間の経費は5544万円に圧縮された。





宮澤大地議員



地域活動の担い手不足について

Q 消防団や夏祭り、学校見守りなど、これまで善意と責任感によって支えられてきた地域活動が、人口減少や高齢化、ライフスタイルの変化により担い手不足や継続の難しさに直面しています。市はこの現状をどのように認識しているのか。また、次世代へつなぐための

A 消防団員の加入促進に努めるとともに、若者や学生が参加しやすい「機能別消防団員制度」の導入を検討しています。幸手夏祭りは実行委員会が主体となり運営しています。市は直接の若年層勧誘は行いませんが、実行委員会と連携し関係機

市民生活部長
建設経済部長
教育部長

関との調整等の支援を行います。スクールガードの見守りは、高齢による活動継続の困難さ、新たな担い手不足の状況です。今後も関係機関と連携し、担い手の確保に努めます。



芦葉弘志議員



介護問題について

Q 高齢化が進む中で、家族による介護の負担が大きくなっている。働きながら介護を続ける方への支援強化が求められている。そこで、本市における家族介護者の現状をどのように把握されているのか伺う。介護する家族への相談支援や、負担軽減のための取組を現在どのように実施している

A 家族介護者の現状については3年に一度のアンケート調査のほか、地域包括支援センターへの相談内容等を通じて把握も日常的に行っており、相談支援も同センターを中

心を実施している。負担軽減の取組みとしては家族の状況に応じ、レスパイトケアにつながる介護サービスの活用方法を案内している。ケアラー支援は重要な課題と認識しており、これまで条例制定のための調査等を行ってきた。今後は国・県の動向や本市の実情・課題を踏まえつつ検討していく。

(健康福祉部長)



小泉圭司議員



Q 本市では防災行政無線を活用した子ども帰宅放送が行われています。これを活用し、子どもから高齢者へ向けた気遣いの一言、例えば「寒くなってきたので暖かくして過ごして下さい」といった呼びかけを添えることで、子どもと高齢者が支え合う関係性を地域に広げられるとともに、聞いた方が

防災放送で子供から高齢者への呼びかけを

温かい気持ちになり、熱中症予防など季節の健康注意にも有効と考えます。このような高齢者への注意喚起を試験的に実施する考えがあるのか、市の見解を伺います。

A 定時放送に高齢者への注意喚起等を加えることは、地域のつながりや見守りについて一定の効果が期待できると考えます。

しかし、現在の放送内容に高

齢者に対する呼びかけを加えることは、放送時間が長くなり、防災行政無線に対する注意意識が低くなることなどが考えられます。

また、防災行政無線の運用の趣旨からも、現段階では課題が多いと認識しております。

(市民生活部長)



坂本達夫議員



Q 幸手市は、旧香日向小学校校舎を幸手看護専門学校に貸出している。1階から4階まで、面積は4478・1平方メートルで、賃料は年間24万6462円である。坪単価に直すと、1坪1月152円となる。

平成7年当時、香日向小学校の並びで商売をしていた人の家

旧香日向小学校校舎の賃料は、どれほどか

賃は、坪単価でいうと、1坪1月に1万円だった。金額の差があまりにも激しい。

幸手市は、幸手看護専門学校にあまりに安く、市民の貴重な財産を貸出しているのではないか。

A 本件は、医療、福祉の成すべく、学校法人の運営の安定化を図ることにより、教育環境の維持確保を図るとともに、

地域医療、地域福祉体制の整備、充実を図るため、算出した賃料を減額する旨、平成25年第1回市議会定例会に提出した議案に対して、御審議をいただき、可決され、締結した契約である。

よって、1坪当たり月額152円というのは総合的に判断すれば、適正な金額であると考えられている。

(市長)



大平泰二議員



水道料金大幅値上げ回避について

Q

県水の料金が12円96銭値上げし、1.1m³当たり74・74円に。県水を約8割使用している幸手市は、さらに85円26銭値上げし、160円になる予定です。その結果、20m³当たりの下水道料を合わせた2カ月分の料金が約4千円増えます。この負担増を減らすには、漏水対策を強化して、幸手市自前

A

漏水対策につきましては、水道メーター検針時の戸別調査や路面調査を毎年度実施しており、漏水が発見された場所については、速やかに修繕を実施してきました。また、供給単価につきましては、第2期幸手市水道ビジョン（経営戦略）の策定にあたり、



（水道部長）

県水の単価と地下水の造水単価を比較しています。それらの結果から、供給単価を下げるができるかどうか、検討してまいります。



高野優一議員



若年層の定住策を考える

Q

少子高齢化や人口減少は多くの自治体にとって喫緊の課題であり幸手市も例外ではない。当市では「まち・人・仕事創成総合戦略」において、子育て支援や婚活支援、住まいに関する補助など多岐にわたる取り組みをおこなっている。若年層が移住を検討する際に就職支援、住宅購入・家賃の支援、子育て支援の充実が重

A

視される。そこで提案する。雇用機会を増やす産業団地の拡張、空き家をリフォーム、リノベーションし賃貸契約で20年住み続けたら無償譲渡することで移住者と地域の空き家を結びつけるのはいかがか市の見解を伺う。人口減少対策に特効薬や魔法のつえはなく、「子育て」「移住定住」「雇用」の地道な取組の積み重ねが重要と認識して

いる。若年層の定住には働く場所の確保が不可欠であり、官民連携による大規模プロジェクトや産業団地の拡張を着実に進める。空き家については「幸手市空家対策計画」を策定し、令和8年度予算には空家等除却補助金を計上し、空き家の発生を未然に防止していく。リフォームやリノベーションについても先進事例を参考に研究を進める。

（建設経済部長）



小林英雄議員



Q 県によるネーミングライツで愛称が変更され、ハッピー公園、万葉の公園の愛称は、何の説明もなく使用不可になった。多くの子どもたちの応募の中から選ばれ、今や市内外でも定着し親しまれているハッピー公園、地元の方々が歴史的研究を行い、ボランティア活動で公園整備をする等、様々

A 県営権現堂公園のネーミングライツ事業は埼玉県の事業であることから、愛称不使用について、市では周知を行っていない。

愛称不使用については、金銭的対価を払って命名権を取得した企業への配慮を考えると、やむを得ないものと考えます。市としては、愛称を応募してくれた小中学生への配慮も必要であると考えており、どのような対応ができるか、可能性を含めて今後検討する。

(市長)

ハッピー公園・万葉の公園 愛称使用不可に



枝久保喜八郎議員



Q 公共施設の利用については、市民の利便性が第一とは思いますが、利用にあたって特にキャンセルの問題があると聞く。現状のシステムでは、市及び市民のダブル面で機会損失の面がある。キャンセルについてはキャンセル料が無いこともあり、当日キャンセルや無断キャンセルが

A 当日キャンセルや無断キャンセルの発生があることは認識している。次回使用時に窓口において、今後は早期の連絡をするように注意喚起を

行っている。インターネットによる施設予約時の電子決済の導入は無断キャンセル抑制に資すると考えるが、新たなシステム構築を要するため、今後の検討課題としたい。今後も窓口等での早めのキャンセル連絡をお願いし、未利用による機会損失が生じないように努めてまいりたい。

(教育部長)

市民からみた公共施設利用の利便性とは？



四本奈緒美議員



「手話リンク」システムの導入を

Q 聴覚や発話に困難がある方の為に、国は昨年4月に公共インフラとして「手話リンク」というシステムをスタートさせた。
市のホームページ上の「手話で電話をする」のボタンをクリックすると、手話通訳オペレーターを介して市役所に直接連絡が取れる。事前登録も不要

A 「手話リンク」は、聴覚や発話に困難のある方の行政サービスへのアクセスを具体的に支える仕組みであり、本市が制定を進めている手話言

(健康福祉部長)

で通話も無料。窓口に来ることなく、場所を選ばず利用する事が出来る。
本市に於いても聴覚や発話に困難がある方の利便性の向上の為に「手話リンク」を導入するべきと考えるが見解を伺う。
今後においては、運用面での整理を行いながら、本市における具体的な導入の在り方について検討を進めてまいりたいと考えている。



松田雅代議員



幸手市立東小中学校の開校に向けた取組加速を

Q 令和9年4月に小規模特認義務教育学校として開校する東小中学校。現在準備が進められているが、学校現場や教育委員会は教育課程や行事計画、日課表を早急にとりまとめ、授業参観や公開授業、体験会などで地域や保護者、市内外に魅力を発信する。これは「選ばれる学校」の重要要素である。

A 東小中学校の開校前年度となる令和8年度は、義務教育学校の土台を築くために重要な時期であると認識している。既存校舎改修・増築棟工事、図書や備品の整備など施設

(教育長)

また、本校の究極の命題「学校の安定的存続」には住宅・移住政策など市長部局の取組も重要である。
開校前夜となる来年度は取組を加速させるべきではないか。
環境の確実な整備を行い、スクールバスの運行準備や通学路の安全確保など通学支援体制の構築を着実に進めていく。同校は、9年間を通じた系統的・継続的な学びの実現に向け、特に教育課程の編成を重視している。今後、関係校の教職員と連携し、早期に編成できるよう努めていく。



木村治夫議員



地震時、生活用水確保のための、災害井戸登録



大規模地震災害発生時、当市においても、広域的な水道断水が発生する。上水道が復旧するまでの間、応急対応用の生活用水の確保が喫緊である、市民・企業等所有の、井戸利用登録制度を進言している、令和8年度対応に向けて伺う。

(1) 市民共助から災害井戸利用



(1) 県内市町の整備状況等の調査研究をすること、市内の神社・仏閣の井戸の有無を調査した。

(2) 例規を整備次第、広報紙、ホームページ等で広く災害用井戸の募集をかけるとともに、所



本田謡子議員



いざ避難、さてどの避難所？



市民のみなさんの中には、避難するには近くの避難所という先入観があるようです。しかしその避難所は、全市民を収容できるものではありません。避難には、自宅避難や避難所避難などがあります。その線引きと市民への周知について、市の今後の対策を伺う。



災害時の避難とは、危険な場所から安全な場所へ移動して生命を守る行動全般を指し、避難所への移動に限られません。自宅避難には、自宅が安全な場合に留まる在宅避難のほか、車中泊、親族・知人宅への避難、宿泊施設の利用等が含まれます。

一方、住宅倒壊や浸水の危険がある場合、または自宅での生活継続が難しい場合には、指定避難所への避難が必要となります。

す。在宅避難や車中泊避難を含む多様な避難行動について、今後も周知を図ります。
(市民生活部長)



有者である個人や企業等へ直接声がけをし、より多くの井戸を登録していただけるよう取り組む。
(3) 例規整備は令和8年度早々に整備し、速やかに登録へ向けての事務を進めていく。
(市民生活部長)

令和8年3月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 市民の幸せをつくる会…幸 自由民主党…自 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…(○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席)
(幸手市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果	
		1 高野 優一	2 小泉 圭司	3 宮澤 大地	4 芦葉 弘志	5 四本奈緒美 (公)	6 坂本 達夫	7 小林 英雄	8 枝久保賢郎 (無)	9 木村 治夫	10 松田 雅代	11 小河原浩和 (緑)	12 本田 諺子	13 藤沼 貞自	14 青木 章	15 大平 泰二			
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号) 令和7年度幸手市一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	賛成全員承認
議案第2号	幸手市男女共同参画を推進する条例及び幸手市いじめの防止等のための組織に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	総務	賛成全員可決
議案第3号	幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務	賛成多数可決
議案第4号	幸手市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	総務	賛成多数可決
議案第5号	幸手市空家等の適切な管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	文教	賛成全員可決
議案第6号	幸手市災害対策本部条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教	賛成多数可決
議案第7号	幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教	賛成多数可決
議案第8号	幸手市水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設	賛成多数可決
議案第9号	令和7年度幸手市一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	総務	賛成全員可決
議案第10号	令和7年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	文教	賛成全員可決
議案第11号	令和7年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	文教	賛成全員可決
議案第12号	令和7年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	文教	賛成全員可決
議案第13号	令和7年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	建設	賛成全員可決
議案第14号	令和7年度幸手市水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	建設	賛成全員可決
議案第15号	令和8年度幸手市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	総務 文教 建設	賛成全員可決
議案第16号	令和8年度幸手市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教	賛成多数可決
議案第17号	令和8年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教	賛成多数可決
議案第18号	令和8年度幸手市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	文教	賛成全員可決
議案第19号	令和8年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設	賛成多数可決
議案第20号	令和8年度幸手市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	建設	賛成全員可決
議案第21号	令和8年度幸手市公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	建設	賛成全員可決
議案第22号	令和8年度幸手市農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	建設	賛成全員可決
議案第23号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	賛成全員同意
議案第24号	令和7年度幸手市一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	総務 文教	賛成全員可決

(議員提出議案)

会議案第1号	幸手市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	—	×	総務	賛成多数可決
--------	-------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	--------

令和7年10月臨時会 提出された議決の結果

(幸手市長提出議案)

議案第72号	損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	—	—	賛成多数可決
議案第73号	令和7年度幸手市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	—	—	賛成多数可決

*議長は表決に参加しないため、「—」となっています。

議会広報編集委員

委員長 青木 章
副委員長 四本 奈緒美
委員 高野 優一
委員 小泉 圭司
委員 宮澤 大地
委員 芦葉 弘志
委員 木村 治夫
委員 松田 雅代
委員 小河原 浩和

編集後記

令和8年も無事に開幕して、第1回定例会も全ての議案が可決成立しました。市では数々の施策を提案して市民が過ごしやすい、市が発展するように鋭意努力をしています。私たち議員は一般市民の代表として先進事例を調査研究して、一般質問等で提案し改善の要望を訴えています。その為に1月は委員会等の視察や所管事務調査を行い、2月には議会報告会を行いました。今回の議会だよりでは、2ページ目に写真入りでその様子の一部を掲載させていただきました。少しでも市民の皆様には伝われば幸いです。

市議会だより
バックナンバーは
コチラ↓

